

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年12月2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	岡本土木株式会社
所在地	〒802-0073 北九州市小倉北区貴船町9番13号
代表者役職・氏名	代表取締役 前田英明
担当者連絡先	電話：093-921-1858
	メール：tanaka-d@okamoto-doboku.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.okamoto-doboku.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は1917年に創業した総合建設業者であり、福岡県の港湾を中心として港湾土木工事、浚渫工事の請負事業を実施している。 「北九州市SDGs登録事業者」として事業所周辺や海岸における清掃活動を実施している。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	加入している協会を通じて海岸の清掃活動を継続して行っている	2023年度以降も継続して実施
□環境 ✓社会 ✓経済	働き方改革の一環として時間外労働を管理し短縮できるよう推進する	施工現場において週休二日(4週8休)を推進 時間外労働720時間/年以下を実現
□環境 □社会 ✓経済	新規就業者数の確保	2030年までに累計8名を採用

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	人権啓発推進員を配置し研修会等に参加					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	就業規則に「ハラスメントの防止」を規定しており、本社及び各事業所にハラスメントに関する苦情の窓口を設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	長時間労働を防止するため、労働時間の管理を実施								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	労働災害防止に向けて毎月所長会議を開催し安全環境部長より災害防止についての教育・周知を行っている			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックの実施 新入社員研修等でハラスメント教育を実施			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	就業規則に「育児休業・介護休業」を規定 工事現場において女性技術者(現場代理人)を配置					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	資格手当や資格取得奨励金を支給し、社員の資格取得を推進				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	「ふくおか健康づくり団体・事業所宣言」 会社負担による人間ドック並みの健康診断実施を検討中			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	毎月の電力使用量を把握・記録している							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	クールビズ・ウォームビズを推進(事業所内にポスター掲示)し、空調機等の使用頻度を削減するよう取り組んでいる							7.2 7.3				12.4	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	ISO14001を取得 環境マネジメントシステムを運用			3.9		6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	コピー用紙などは再生紙を利用するよう推進											12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を取得 品質マネジメントシステムを運用									9								
	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	可能な限り最新の低騒音型・低振動型・排出ガス対策型建設機械を使用している				4						9	11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	自治会に加入し地域の防災訓練や「子ども見守り運動」「夜間パトロール」に参加 高校生や大学生などを対象に事業へ携わる機会を提供 (現場見学会の実施・インターンシップの受け入れ)				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13				

